



みかんぐみ  
竹内 昌義

卒業設計タイトル  
「Tower Complex」

プロフィール

1962年 神奈川県生まれ  
1989年 東京工業大学大学院修士課程修了  
1989-91年 ワークステーション一級建築士事務所勤務  
1991年 竹内昌義アトリエ設立  
1995年 みかんぐみ共同設立  
2000年一 東北芸術工科大学准教授

**Q** 卒業設計のコンセプト、デザインについて教えてください。

**竹内** 当時日本では超高層ビルはオフィスであることが一般的で、住宅はあまりなかったんです。「都市に住む」ということを考えた時に、積極的に新しい住み方を考えようと思い、様々なタイプの住居の集合体としての超高層建築を表現しようと考えました。敷地は渋谷の109とPRIMEビルが建っている三角形の敷地です。そこに高層部がすべて住宅の4本のタワーを建て、コンプレックスを作ろうと考えました。その頃、超高層のビルという全体が単一なデザインで独立して建つことが多く、それ自体のデザインをどうするかが重要なことでした。でもいくつかのタワーの集合体としてのデザインというのはなかったので、それをここでやろうと決めたのです。いろいろな住居のタイプがあって、それをそのまま外に表現したかったのですが、果たしてそこまでちゃんと中をデザインしていたかどうかまでは…、今見るとどうも自信がないですね(笑)。

**Q** 卒業設計に対する満足度はどれくらいですか？

**竹内** 私自身の満足度としては、自分のやりたいことは全部やってと思うのでその点ではいいかもしれない。でも途中で体調を崩したりしたので70点くらい。あと、色々な形のモチーフの中に当時流行していたものを安易に使ってしまっている部分があって、それに関しては今では反省しています。

**Q** 学生時代どのようなことに興味がありましたか？

**竹内** あの当時、私が興味を持っていたのはどちらかというところのような恒久的な建築よりは、仮設建築であったり、商店建築に興味がありました。建築の本来持っている存在感というか、重苦しさが嫌だったので、そうではないものにしていきたいという考えからです。実は卒業設計でもこういった観点から、最初はもっと軽い、はかないもの、たとえば「海の家」みたいなことをやりたいと思っていました。かなり長いこと考えていたんですが上手く展開できな



卒業設計「Tower Complex」

かった。今なら色々な方法を持っていますが、その頃はどうか表現したらよいか分からなかったんです。それで挫折しました。

**Q** 学生の頃に影響を受けた建築家は誰ですか？

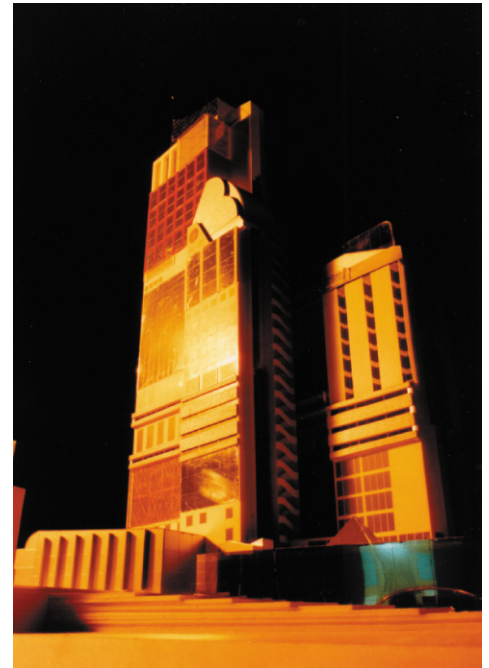
**竹内** 坂本一成、伊東豊雄、レム・コールハースですか…。

**Q** 卒業設計は現在の活動とどのようにつながっていますか？

**竹内** 学生時代に考えていたことは今でもあまり変わってないつもりです。でも今、私が学生で同じことをやったかっていうと、建築を取り巻く状況も違うし、おそらく全然違うことをやると思います。でも、建築に対する考え方やスタンスは意外とあの頃からあまり変わらず、「こうなったらいいな」とか思う感覚は今でも変わってないです。

**Q** 現在どのようなことに興味を持っていますか？

**竹内** 現在は地球環境のことも考えながら建築のことを考えなければいけないようになってきていると思います。そういう状況で、どうやって楽しく生活できるかということに興味があります。杓子定規にエコロジーのことを考えようと言っ



て、それが正しいことだからやらなければならないというのでは、多分うまくいかない。日光であったり、風であったり、そういった自然の色々な要素を背景にして、それ自体を楽しめるようなことを建築で表現できたら面白いと思います。本当に気持ちのいい空間がくれたらよいですね。

**Q** 最後に、学生に一言お願いします。

**竹内** 今は学生を取り巻く情報がとても多い世の中になってると思うんです。傾向と対策みたいなことに縛られすぎていて、ある型の中に自分から入っていついてしまってる気がします。ここはこういうもんだからこうだ、という感じで。そういう意味では当時のほうが自由だったと思うんですよ。だから今の学生にもある範囲の中に留まらず、自由にやってほしいと思います。



2005年日本国際博覧会 トヨタグループ館